

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●太宰啓介騎手がJRA通算600勝を達成

2月14日(土)の2回京都5日・第3レースではメイショウアカリが1着となり、同馬に騎乗した太宰啓介騎手(栗東・フリー)は、史上87人目・現役33人目となるJRA通算600勝(1万2303戦目)を達成しました。

●上野翔騎手がJRA通算100勝を達成

2月14日(土)の1回小倉7日・第8レースとして行われた小倉ジャンプS(J・GⅢ)ではサンデイビスが1着となり、同馬に騎乗した上野翔騎手(美浦・フリー)は、現役91人目となるJRA通算100勝(2358戦目)を達成しました。

●西塚洸二騎手がJRA通算100勝を達成

2月15日(日)の1回小倉8日・第9レースとして行われた太宰府特別ではマトラコーニッシュが1着となり、同馬に騎乗した西塚洸二騎手(栗東・フリー)は、現役92人目となるJRA通算100勝(1573戦目)を達成しました。

●難波剛健騎手がJRA障害通算1000回騎乗を達成

2月14日(土)の1回小倉7日・第4レースでセイフウサツキに騎乗した難波剛健騎手(栗東・フリー)は、史上22人目・現役9人目となるJRA障害通算1000回騎乗を達成しました。

●杉山佳明調教師がJRA通算100勝を達成

2月15日(日)の1回小倉8日・第3レースではハヤテノツバサが1着となり、同馬を管理する杉山佳明調教師(栗東)は、現役145人目となるJRA通算100勝(延べ1509頭目)を達成しました。

●中竹和也調教師がJRA通算700勝を達成

2月15日(日)の1回東京6日・第6レースではティムールが1着となり、同馬を管理する中竹和也調教師(栗東)は、史上62人目・現役12人目となるJRA通算700勝(延べ8040頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●雲取賞(大井)でリアライズグリントが未勝利戦から連勝

雲取賞(JpnⅢ、3歳、2月18日、大井、1,800円)は、2番手から直線入口で先頭に立った3番人気のリアライズグリント(坂井瑠星騎手、牡、父キタサンブラック)が、2番人気のトリグラフィルの追撃をクビ差凌いで重賞初制覇。ややスタートが悪く序盤最後まで下がるロスがあった1番人気のマクリールは6馬身遅れの3着、ケイツーリーブルが4着と、4頭出走したJRA所属馬が上位を独占しました。

●飛燕賞(佐賀)は牝馬ハクアイドウマン【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(2月8日、佐賀、1,400円)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った3番人気の北海道からの転入馬ハクアイドウマン(牝、父アメリカンペイトリオット)が後続をクビ差抑えて重賞初制覇。4戦4勝で単勝1.3倍の支持を集めたダバイシュクレはスタートで大きく躓いて後方からの競馬を強いられることが響き、6着に終わっています。ゴールドジュニア(2月5日、笠松、1,600円)は、後方から追い上げた4番人気の北海道から笠松への移籍馬リバーサルトップ(牡、父ミスチヴィアスアレックス)が接戦を制し、単勝1.3倍で圧倒的人気の愛知所属馬ミモザノキセツは3着に敗れました。

●2月23日のかきつばた記念にJpnⅠ3勝馬シャマルが登場

かきつばた記念(JpnⅢ、2月23日、名古屋、1,500円)は、グレード別定の60%が鍵となるシャマル、59%のマテンロウコマンド、57%が有利なダノンフィーゴの3頭が主力を形成し、ジャスパーロブスト(58%)、ウェイワードアクト(57%)が続きます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●サウジカップデー～フォーエバーヤングがG1サウジカップ連覇

現地2月14日にサウジアラビアのキングアブドゥルアジズ競馬場で行われたサウジカップデーのメインレースで、世界最高賞金(総賞金2000万ドル=約31億2000万円、1着賞金1000万ドル=約15億6000万円/1米ドル=156円で換算)を誇るG1サウジカップ(北半球産4歳上、南半球産3歳上、ダート1,800m)は坂井瑠星騎手を背に先行したフォーエバーヤング(牡5歳、父リアルスティール、栗東・矢作芳人厩舎)が最終コーナーで最内から抜け出して先頭に立つと、最後はG1BCダートマイルを含む重賞4連勝中だったアメリカのナイソスに1馬身差をつけて優勝。このレース史上初となる連覇を果たしました。なお、今年のサウジカップデーには日本から20頭が6つのレースに参戦。勝利を収めたのはフォーエバーヤングのみでしたが、G3サウジダービー(3歳、ダート1,600m)ではサトノボヤージュが3着に入りました。

●G2アミールトロフィー～ディープモンスターが制す

2月14日にカタールのアルライヤン競馬場で行われたG2アミールトロフィー(4歳上、芝2,400m)はT.マーカンド騎手が手綱を取ったディープモンスター(牡8歳、父ディープインパクト、栗東・池江泰寿厩舎)が逃げ粘る一昨年のG1キングジョージVI&クイーンエリザベスSの勝ち馬ゴリアットをかわして優勝。初の海外遠征を実らせて、昨年の京都大賞典(GⅡ)(芝2,400m)に続く2つ目の重賞タイトルを手に入れました。